

科目名	情報セキュリティ特論	英文表記	Advanced Information Security		22年3月22日	
科目コード						
教員名	伊波靖				作成	
技術職員名						
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
創造システム工学専攻・情報工学コース	専2	選	学修	2単位	講義	前期
目標及び評価方法	目標項目			評価方法及びその割合		
	(1) 情報セキュリティを確保するためにOSに実装された機能と、実際の不正アクセス手法とその防御法について理解する			(1) 各種OSに実装された機能と、実際の不正アクセス手法及び防御法について課題を与えレポートで評価する(20%)		
	(2) セキュリティポリシーに基づいたセキュアOSの設定法について理解する			(2) セキュリティポリシーに基づいたセキュアOSの設定法に関する演習を行い作成したレポートで評価する(20%)		
	(3) 脆弱性検査手法について具体的なツールにより理解する			(3) 脆弱性検査手法に関する演習を行い作成したレポートで評価する(20%)		
	(4) 不正プログラムの具体的な手法を理解し、それを防ぐセキュアプログラミング手法について理解する			(4) Webアプリケーションを作成し、不正アクセスに対する対策法を実装し作成したレポートで評価する(40%)		
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	メディア情報工学
	○		◎		JABEEプログラム教育目標	A-2
授業概要、方針、履修上の注意	情報セキュリティを確保するためにOSに実装された機能と、実際の不正アクセス手法とその防御法について学ぶ。セキュリティポリシーに基づいたセキュアOSの設定法について学ぶ。また、脆弱性検査手法について具体的なツールにより理解を深め、それを防ぐためのセキュアプログラミング手法について学ぶ。					
教科書・教材	自作教材及びパワーポイントなどのプレゼン資料					
授 業 計 画						
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目
1	ガイダンス	2	授業の進め方や成績評価方法、受講上の注意事項など			
2	OSにおけるセキュリティ機能の変	2	OSにおけるセキュリティ機能の変遷について学ぶ			
3	セキュアOS(1)	2	各種セキュアOSの考え方について学ぶ			
4	セキュアOS(2)	2	各種セキュアOSの設定方法について学ぶ			
5	セキュアOS(3)	2	各種セキュアOSの設定方法について学ぶ			
6	脆弱性検知手法(1)	2	脆弱性検知手法等について学ぶ			
7	脆弱性検知手法(2)	2	脆弱性検知手法等について学ぶ			
8	脆弱性検知手法(3)	2	脆弱性検知手法等について学ぶ			
9	不正アクセス手法と防御(1)	2	不正アクセス手法と防御について学ぶ			
10	不正アクセス手法と防御(2)	2	不正アクセス手法と防御について学ぶ			

11	セキュアプログラミング(1)	2	セキュアプログラミングの開発手法について学ぶ	
12	セキュアプログラミング(2)	2	セキュアプログラミングの開発手法について学ぶ	
13	セキュアプログラミング(3)	2	セキュアプログラミングの開発手法について学ぶ	
14	最終課題(1)	2	Webアプリケーションを作成しセキュリティ対策を行う	
15	最終課題(2)	2		
期末	期末試験		実施しない	
学習時間合計		30	実時間	25
<p>学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 各項目毎にレポート課題と演習課題を課す。</p>				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)